



八小学習便り

八幡市立八幡小学校

令和元年5月7日

今年度も「八小学習便り」で八幡小学校の子どもたちが学校で取り組んでいる学習や活動をお知らせしていこうと考えています。第1号では前年度同様、家庭学習の意義についてお知らせいたします。

◆家庭学習がなぜ必要なのでしょう。家庭学習によって次のような教育効果が期待できます。

1 学習内容の定着

学校で学習したことを家庭で学習することにより、習熟・定着を図ることができます。特に漢字や計算などは、毎日繰り返し練習することで定着していきます。学校で分かったことが、反復練習によって確実にできるという自信になります。

2 脳の活性化

読み・書き・計算を毎日繰り返すことは、脳の活性化につながってきます。脳も身体の筋肉と同じように、毎日繰り返し使うことで活発に働くようになっていわれています。きたればきたえるほど発達し、脳が様々な面で活発に働くようになります。小学生の時期に、どんどん脳を鍛えていきましょう。

3 学ぶ習慣をつける

毎日家庭学習を継続することにより、自ら進んで学習する習慣が身につきます。毎日続けることで、やがて学習することが当たり前のように習慣化します。少しずつでも続けていくことが大きな力につながります。低学年のうちから習慣化できるようにお願いします。

4 がまん強さ・根気・集中力をつける

家庭学習をするときに一番じゃまをするのが、ゲームやテレビです。この誘惑に打ち勝つことで、がまん強さ、根気、集中力を養うことができます。ゲームやテレビは時間を決めて、学習や読書の時間をしっかりつくってください。そのためには、ご家族の協力も必要です。家でのルール作りをお願いします。

5 家族のふれあい

音読をするときに誰かが聞いてあげる、勉強が分からないときに教えたり、一緒に調べたりしてあげるなど、家庭学習の時に家族の方が関わってあげることにより、コミュニケーションが深まります。家族のふれあいが増えれば、子どもの心の安定にもなります。

◆ 家庭学習のポイント

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1 決まった時間に毎日する | 2 集中して学習する |
| 3 家庭学習中はテレビを消す | 4 せいとんされた場所で、良い姿勢で学習する |
| 5 子どもの頑張りをほめて励ます | 6 規則正しい生活リズムをつくる |

☆子どもたちには、家庭学習のてびきを配布しましたので、てびきを参考に家庭学習に取り組めるよう、ご家庭でも声かけしてあげてください。ご協力よろしくお願ひいたします。

☆今年から子どもたちが取り組んだ俳句・川柳の作品を新聞社などに投稿する試みをしようと考えています。投稿などは控えたいと思われる保護者の方は各担任にその旨をお伝えくださいますよう、よろしくお願ひいたします。

こばと学級

『がんばる子 やさしい子 元気な子』を目標に、今年も一人ひとりが輝けるよう、こばと学級はもちろん、交流学級でもがんばっていきたいと思います。

各教科の学習はもちろん、生活単元の学習も大切にしています。自分たちで育てたものを調理して食べたり、生活に根ざした学習にも取り組んでいます。今年もミニトマト（りりこ）の苗を一人ひとり植えました。毎日、水やりをして成長を楽しみに待ちわびている子どもたちです。

1年生

学年目標は、『わくわくしながら いろんなことに挑戦し、ぐんぐん成長していく 1年生』です。何事にも一生懸命取り組んでいってほしいと思います。

平仮名の学習が始まりました。鉛筆を正しく持ち、良い姿勢で書いていきます。「つ」や「く」のような簡単な字でも、終わりをとめる・はらうの違いがあります。「へえ、そうなんだ。」という発見もしながら、言葉集めをたくさんし、楽しく覚えていきたいと思えます。

2年生

『自分から やってみる。友だちを 思いやる。みんなで 団結。2年生』を徳票に、助け合い、協力し、元気であたたかい2年生を目指して頑張ります。

国語科では、「ふきのとう」を学習しています。場面ごとに登場人物の様子や言葉から、みんなで動作化をして気持ちを読み取りました。登場人物になり切り、工夫をした音読をすることができ、表現力が高まりました。

3年生

3年生の学年目標は「～スマイル～進んで行動、毎日元気なあいさつ、いつもなかよし、ルールを守る」です。このスマイルを胸に、日常の学校生活を笑顔いっぱいにしてもらいたいです。

国語「きつつきの商売」では、早速全文シートを活用し、丁寧な読み取りを行いました。また、音読発表会に向けて、各班で音読の仕方を工夫していました。練習の成果もあって、各班それぞれよさの出た、すてきな発表会になり、児童たちも満足げな表情でした。

4年生

算数科では「角とその大きさ」の学習をしました。初めて分度器を使って角の大きさを調べる際には、「どっちから測ったらいいのかなあ。」と迷いながら取り組んでいました。しかし、友だちとペア学習などで交流していくと、「90°より大きいか小さいかで考えたらいいよ。」「辺に合わせた方から、0°、10°、20°と数えたらいいよ。」など、分度器の使い方をだんだんと理解してきました。これからも友だちとの交流を通して、新たなことに気付き合いながら学習に取り組んでいってほしいと思います。

5年生

5年生へと進級し、4年生時より授業内容も難しくなる中で、日々様々なことを吸収しようと子どもたちは頑張っています。

国語科の「なまえつけてよ」では全文シートと呼ばれるシートを活用し、学習をすすめています。場面分けがどうなっているのかや、物語の繋がりが一目で分



かることで、子どもたちの意見交流も叙述に基づく深みのある発言となっています。主体的な活動をすることでさらなる読みの力を伸ばしていければと思います。

6年生

6年生の学年目標は「本物の最高学年」です。下級生に慕われ、自分達で考えて行動できる自立した6年生になってほしいという願いを込めています。

今年は国語科の学習で「全文シート」を活用した授業を行っていきたくと考えています。6年生で初めての説明文「時計の時間と心の時間」でも、この全文シートを使って授業を行いました。「全文シート」を使うことで文章構成を読み取ることができ、意欲的に取り組みました。これからも学習方法を練り、実践していこうと思います。

